

比較食文化史年表の作成について (日本：昭和期Ⅱ (1961-1988))

Chronology of Comparative Food Culture: Japan; the Late, Showa Era (1961-1988)

林 裕子 *1
Yuko HAYASHI大下市子 *2
Ichiko OSHITA田代文子 *1
Fumiko TASHIRO時枝久子 *3
Hisako TOKIEDA橋爪伸子 *4
Nobuko HASHIZUME五島淑子 *5
Yoshiko GOTO和仁皓明 *6
Kohmei WANI

This chronology is the fifth in a series of publications on comparative food cultures.

This particular installment will cover part of the Showa era from 1961 to 1988. Previously, the authors have examined Japanese food culture in the period between the Jomon and Azuchi-Momoyama eras, as well as the Edo, Meiji, Taisyo, and Showa eras (specifically, the part of the Showa period from 1926 to 1960).

The year 1988 marks a clear cutoff in food culture phenomena in terms of such events having a lasting influence on later generations of Japanese food culture; mirroring that endpoint, this chronology also stops in the same year. The authors have only recorded food culture phenomena lasting for approximately a quarter of a century. Incidentally, 1988 also marks the end of the Showa era.

The authors have compiled information on 408 chronological items from 222 sources, including 48 print publications and 174 electronic publications. Food culture phenomena are classified in this chronology in the same manner as previous papers in this series.

キーワード：比較食文化 Comparative Food Culture；年表 Chronology；
食文化事象の分類 Classification of Food Culture Phenomenon；
日本 Japan；昭和 Showa Era

はしがき

本研究ノートは、「比較食文化史年表に関する諸問題」¹⁾、「比較食文化史年表の作成について (日本：江戸期)」²⁾、「比較食文化史年表の作成について (日本：縄文期～安土桃山期)」³⁾、「比較食文化史年表作成について (日本：昭和期Ⅰ (1926-1960))」⁴⁾の続報として、日本国内の昭和期の1961 (昭和36) 年から1988 (昭和63) 年までの食文化事象を記述した年表である。したがって年表作成上の諸凡例については既報^{1, 2, 3, 4)}に記述したことを踏襲している。

なお本研究ノートにおいて日本の食文化事象記述の最終年を1988 (昭和63) 年に設定した。その理由として、①本研究ノート第1報¹⁾に記した「食文化事象採択の基準」と

して「その事象は現代社会の食に強い影響を及ぼしているか」という基準に準拠すること。②一つの食文化事象が、後世に「影響を及ぼしている」と判断するためにその事象の継続性が問われ、その期間が短すぎると一時的な流行現象を文化事象として採択する誤りを犯す可能性がある。本研究ノートでは、その事象がほぼ4分の1世紀 (約25年) 継続しているならば、今後も継続し定着する可能性が高く記録に残す事象と判断した。

本研究ノート作成にあたり、長野県短期大学中澤弥子氏、元日本包装技術協会佐々木敬卓氏、元長崎大学多部田修氏、太平洋貿易 (株) 田嶋猛氏、下関ふぐ連盟松村久氏ほか多くの方々から情報が得られた。ここに謝意を表する。

なお前報同様、一般社団法人日本家政学会食文化研究会の会員でないので共著者に併記できなかった古屋敷明美、横山幸代の2名も共同研究者であることを付記する。

文献

- 1) 五島淑子他：「比較食文化史年表に関する諸問題」、『会誌 食文化研究』, No.5, 東京, 39-49 (2009)
- 2) 橋爪伸子他「比較食文化史年表の作成について (日本：江戸期)」、『会誌 食文化研究』, No.6, 東京, 31-38 (2010)
- 3) 時枝久子他「比較食文化史年表の作成について (日本：縄文期～安土桃山期)」、『会誌 食文化研究』, No.8, 東京, 37-45 (2012)
- 4) 田代文子他「比較食文化史年表の作成について (日本：昭和期Ⅰ (1926-1960))」、『会誌 食文化研究』, No.9, 東京, 27-33 (2013)

*1 西日本食文化研究会、東亜大学

Western Japan Food Culture Study Group, University of East Asia

*2 西日本食文化研究会、安田女子大学

Western Japan Food Culture Study Group, Yasuda Women's University

*3 西日本食文化研究会、九州女子大学 (非)

Western Japan Food Culture Study Group, Kyusyu Women's University

*4 西日本食文化研究会、同志社大学 (非)

Western Japan Food Culture Study Group, Doshisha University

*5 西日本食文化研究会、山口大学

Western Japan Food Culture Study Group, Yamaguchi University

*6 西日本食文化研究会

Western Japan Food Culture Study Group

年次	分類	記事	出典
1961 (昭和36)	飲食物	4月。「森永乳業」がインスタント粉末クリーム(クリープ)を発売。	森永乳業HP、201203
	消費者	6月12日。「農業基本法」公布施行。農業生産の選択的拡大・生産性向上・構造改善・流通合理化など。	
	消費者	9月。「日本消費者協会」が消費者の啓発活動を主な目的として設立。	日本消費者協会HP、201308
	飲食物	10月7日。コープ飲料用調査香料が輸入自由化になり、コープ飲料の国内生産が普及。	日本清涼飲料検査協会HP、201205
	加工	10月。「三共電器(現 サンデン)」が噴水式ジュース自動販売機を生産販売。	サンデンHP、201203
	資源	北海道農業試験場がジャガイモ「コキジロ」を育成。高たんぱく質冷凍加工用品種。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.239
	資源	米国、カナダから産卵用種鶏、肉用種鶏(ブロイラー)の大量輸入開始。専用品種普及(10年後に90%以上が置換)。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.240、農林水産技術会議事務局編『昭和農業技術発達史第4巻』1995、p.91
	加工	「沖電気」が瓶入り牛乳の自動販売機を発売。	林弘通『二〇世紀乳加工技術史』幸書房、2001、p.10
	飲食物	「リプトン(現 ユニリーバ)」がティーバッグ入り紅茶を発売。同年、「三井農林(現 日東紅茶)」も発売。	ユニリーバ・ジャパンHP、201205、三井農林HP、201205
	飲食物	「明治食品(現 山印醸造)」が急速真空凍結乾燥法による粉末即席みそ汁を製造発売。	山印醸造HP、201203
	飲食物	「武田薬品工業(現 ハウスウェルネスフーズ)」が、グルタミン酸、イソニン酸、グアニル酸、3種の複合調味料「味の一番」を発売。	ハウスウェルネスフーズ、201303
	企業	農産加工食品製造業「吉幸食品工業(現 日本デルモンテ)」が米国デルモンテ社との技術提携により、デルモンテマトケチャップ、トマトジュースの製造販売。	日本デルモンテHP、201203
	学術	香川綾が「4つの食品群」を提唱。第1群:魚・肉・豆、第2群:野菜、芋類、第3群:牛乳、卵、第4群:穀物、砂糖、油脂と、栄養的な特性によって分類。	女子栄養大学HP、201301
	行動	「サントリー」が「トリスを飲んでハワイへ行こう」キャンペーン実施。海外旅行を食品販売の景品とする最初の企画。	田島慎一『世界中のお菓子あります』新潮社、2006、p.156、サントリーHP、201208
	行動	「ペプシコーラ」が瓶入り飲料の輸入自動販売機を導入。	ペプシコーラHP、201208
消費者	合成甘味料サッカリン(acid type)がチューニングガムの添加物として再指定。		
1962 (昭和37)	飲食物	3月。「大正製薬」が「リポビタンD」を発売。健康飲料として発売。	大正製薬HP、201203
	加工	3月。「不二精機(福岡)」が包あん機を開発。饅頭・おぼろの自動成形機(包あん機)の製造メーカーとして設立。	不二精機HP、201205
	消費者	5月15日。「不当景品類及び不当表示防止法」公布。	
	企業	8月。「木次乳業」が島根雲南で創業。低温保持殺菌牛乳を発売。	木次乳業HP、201203
	消費者	9月13日。「栄養士法一部改正」公布(1963(昭和38)年4月1日施行)。管理栄養士制度が制定。「栄養改善法一部改正」公布(1964(昭和39)年4月1日施行)。一定規模の集団給食施設に、栄養士・管理栄養士配置の努力規定。	
	消費者	9月。「日本農林規格協会」が設立。JASマークの認定開始。	日本農林規格協会HP、201303
	企業	9月。「ロイヤル」が、セントラルキッチンシステムを採用し、業務用冷凍調理品の製造開始。	ロイヤルホールディングスHP、201209
	飲食物	11月。「味の素」がグルタミン酸とイソニン酸の複合調味料「ハイミー」を発売。	味の素HP、201203
	資源	「坂田種鶏(現 サカタのタネ)」が「サロンド」ブランド「プリンセス」育成。マクワリとヨーロッパ種を交配。皇太子ご成婚にちなんで「プリンス」と命名。	日本人が作りだした動物園企画委員会『日本人が作りだした動物園』養書房、1996、p.200
	資源	前田龍郎が福岡産古島でかいわれ大根の砂研栽培を開始。以後合成樹脂容器を使用した水耕栽培に発展。	高橋克己『かいわれ』講談社出版サービスセンター、2002、p.44
	飲食物	「明星食品」が、スープ別添の即席ラーメン「明星ラーメン」を発売。	明星食品HP、201203
	飲食物	「東海漬物」が、袋詰め漬物「きゅうりのキューちゃん」を発売。	東海漬物HP、201203
	飲食物	「島田屋本店(現 シマダヤ)」が愛知名古屋で、包装種「シマダヤのかげうどん」を発売。100日間常温保存可能、加熱殺菌済み茹でうどん。	シマダヤHP、201203
	飲食物	「雪印乳業(現 雪印メグミルク)」がインスタントマッシュポテト「雪印 マッシュポテト」を発売。	雪印メグミルクHP、201208
	企業	「共栄(現 サッポロライオン)」が屋上ビヤガーデン1号店を広島で開店。	サッポロライオンHP、201205
企業	足利政春が広島で食品製造販売業を創業。玉子焼、かに風味蒲鉾、野菜加工品等販売。1978(昭和53)年「あじかん」に社名変更。	あじかんHP、201208	
学術	国立瀬戸内海栽培漁業センター(現 水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所)が香川・岡山と愛媛・広島に設立。翌1963(昭和38)年度より事業を開始。	田中克徳編『水産の21世紀』京都大学学術出版会、2010、p.169	
メディア	「ライブ編集部」小野正敏が『Life世界の料理』を三洋出版貿易から刊行。		
メディア	「キュービー」がテレビ料理番組「キュービー3分クッキング」の放映開始。キュービーは中部日本放送と日本テレビ、食品企業による料理番組の提供の最初。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.250	
行動	「新三菱重工(現 三菱重工)」が、多用途コーヒー自販機を米国ベント社との技術提携で製造販売。同機は、飲料4種類(ブラック、砂糖入り、ミルク、砂糖入り、ココア)販売、300個のカップ供給、つり銭払出し装置付き。	樋口義弘『飲料自動販売機技術発展の系統化調査』国立科学博物館技術の系統化調査報告 Vol.7』2007、p.82	
行動	「東京芝浦電気(現 東芝)」が業務用電子レンジを国鉄(現 JR)に納入、新幹線車内食堂に使用。同年、「早川電機工業(現 シャープ)」も電子レンジを発売。	東芝科学館HP、201203、シャープHP、201203	
行動	この頃、福岡長浜魚市場近傍で、複数の「長浜ラーメン」の店が開店。白濁した豚骨スープと替え玉の提供が特徴。	福岡県・西日本新聞社『福岡文化百選』西日本新聞社、1993、p.88	
行動	日本の捕鯨船団が南水洋捕鯨でシロナガスクジラ捕獲(BWU)6574頭を捕獲。過去最高を記録。	渡邊洋之『捕鯨問題の歴史社会学』東信堂、2006、p.151	
消費者	果汁飲料、野菜缶詰、果実缶詰などの農林規格告示。		
1963 (昭和38)	消費者	3月31日。「酒税法施行令」公布(10月1日施行)。果実酒の自家消費の製造が自由化。	
	企業	4月。「日本タッパウェア」が東京港区で設立。ホームパーティ式販売を開始。	日本タッパウェアHP、201203
	行動	4月。バナナの輸入自由化。戦後市場初めての緩和。	朝日新聞朝刊1963年4月14日
	飲食物	5月。「味の素」が、米国ケロッグ社との提携により「ケロッグ コーンフレーク」を発売。	味の素HP、201203
	企業	5月。加茂守が、大阪西淀川でたまごパック・フードパックの開発・販売開始。1964(昭和39)年「ダイヤ化成工業(現 ダイヤフーズ)」設立。	ダイヤフーズHP、201205
	飲食物	7月。「日清食品」が即席麺「日清焼そば」を発売。	日清食品HP、201203
	資源	宮城県農業試験場が水稲品種「ササニシキ」を育成。1953(昭和28)年奥羽224号(後の「ハツニシキ」とササニシキ)を交配。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.248、香洋『稲』法政大学出版局、1998、p.266
	資源	愛知県農業総合試験場で、水稲品種「日本晴」育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.248
	資源	瀬戸内海水産開発は藤水元作らが山口秋徳で設立。山口秋徳と大分姫島でクルマエビ養殖場開設。	有重真輝『山口県漁業の歴史』日本水産資源保護協会、2002、p.149、150
	資源	山形県水産種苗センター(秋徳町)(現 内海栽培漁業センター)で、トラフグの種苗生産を開始。翌1964(昭和39)年から、県内数か所の養殖場でトラフグ養殖が開始。	下関市魚市場『創立60周年記念写真集』下関市魚市場『下関市魚市場』2008、p.112
	加工	「レオン自動機」が自動包あん機を開発販売。	レオン自動機HP、201303
	飲食物	「サントリー」が東京府中でサントリービールを製造発売。	サントリーHP、201203
	飲食物	「東洋水産」が和風即席麺「タヌキノバ」を発売。	東洋水産HP、201308
	企業	「ヤクルト」が婦人販売員(ヤクルトレディ)システムを導入。	ヤクルトHP、201208
	学術	科学技術庁資源局編『三訂日本食品標準成分表』刊行。記載食品数878、成分はナトリウム、ビタミンAがカロテンとA効力を追加。ビタミンDが記載され、合計20項目。新しく記載した食品183品目のうち、141品目が加工食品。	農林水産技術会議事務局編『昭和農業技術発達史第6巻』農山漁村文化協会、1997、p.660、662、663
行動	学校給食に大手乳業4社製造のアロステーズが全国各地で採用。	串間勝『ましろ』小学校ものへん、ちくま文庫、2006、p.228	
行動	スーパーマーケット「ダイエー」が冷凍食品売場を開発。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.250	
行動	「タニタ」がオーブントースターを発売。	タニタHP、201312	
1964 (昭和39)	企業	1月。「味の素」が、米国コーン・プロダクツ社との提携により「クノールスープ」発売。	味の素HP、201203
	行動	3月。「日東石油(現 わらべや日洋)」は大友太郎が東京で設立。その後調理済食品等の製造販売に進出。	わらべや日洋HP、201208
	出来事	4月1日。海外旅行自由化。	
	資源	5月。瀬戸内海水産開発が島事業場と国立内海区水産研究所(現 南西海区水産研究所)との魚介種苗生産技術の共同研究を開始。トラフグ天然親魚から人工受精により採卵、孵化仔魚を飼育。ならびにクルマエビ種苗生産を開始。	日本栽培漁業協会『日本栽培漁業協会20年史』日本栽培漁業協会、1983、p.51
	行動	8月31日。文部、農林事務次官「学校給食牛乳供給事業の実施について」通達。学校給食への牛乳の本格供給が開始。	日本スポーツ振興センターHP、201301
	飲食物	8月。「サンヨー食品」が即席麺「長崎タンメン」を発売。塩味即席ラーメンの最初。	サンヨー食品HP、201205
	出来事	10月10日。東京オリンピック開催。	
	飲食物	10月。「大関」がコップ容器入り清酒「ワンカップ大関」を発売。	大関HP、201203
	企業	10月。喫茶「ルノアール」は「花見煎餅」喫茶部を「花見商事(現 銀座ルノアール)」として設立し、東京日本橋に第1号店を開店。	銀座ルノアールHP、201208
	資源	伊藤隆(三重県立大学)が海産魚種苗の天然飼料シオミズボウシの大量培養に成功。トラフグの種苗生産に応用。	日本水産学会出版委員会編『現代の水産学』恒星社厚生閣、1994、p.126
	資源	タイキ種苗、F1品種「コンジシ」品種「長岡交配向陽5寸」育成(細胞質雄性不稔利用)。その後後継品種として向陽2号が開発され、ニンジン臭が少ない品種として1983(昭和58)年に種子を発売。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.254、タイキ種苗HP201303
	飲食物	「にんべん」が日本初の濃縮つゆ「つゆの素」を製造発売。	にんべんHP、201203
	飲食物	「シマヤ商店(現 シマヤ)」(山口周南)が粉末風味調味料「シマヤだしの素」を発売。	シマヤHP、201203
	飲食物	「カルビー製菓(現 カルビー)」が「かつぱえびせん」を発売。	カルビーHP、201203
	飲食物	新潟県食品研究所(現 新潟県農業総合研究所食品研究センター)が、餅をフィルム包装後60℃で加熱殺菌する常温流通可能な包装の製造技術を開発。「サトウ食品」が製造販売。	サトウ食品HP、201205
学術	農林省食糧研究所(現 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所)で、放線菌の生産する酵素、グルコースノメラーゼを発見。後に固定化酵素による異性化糖生産に利用。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.255	

比較食文化史年表の作成について（日本：昭和期Ⅱ（1961-1988））

年次	分類	記 事	出 典
	メディア	辻静雄『フランス料理、理論と実際』を光生館から刊行。フランス料理の成立に関して詳述した本邦最初の単行本。特にフランス料理史に関する手引きとして重要。	
	メディア	レイチェル・カーン著、青樹梁一訳『生と死の妙薬（現 沈黙の春）』を新潮社から刊行。農薬・食品添加物などの化学物質の危険性を訴えた作品。	
	メディア	荒田勇作『荒田西洋料理全8巻』を柴田書店から刊行開始。1964(昭和39)～1970(昭和55)年。食材料、料理コース別にフランス料理のレシピを詳述。	
	行動	『貨泉プラスチック（現 KASEN）』が、日本で最初にABS樹脂製ポリウレタン塗り業務用食器を開発、製造販売。	KASEN(貨泉プラスチック・カセン産業)HP、201205
	行動	『王子製紙』がスモークサーモンの試作開始(原料は北海道産「しらす鮭」)。1967(昭和42)年10月「北海道サーモン(現 王子サーモン)」を設立。	王子サーモンHP、201203
	行動	『十條キンパリー(現 日本製紙クレシア)』が「クリネックスティッシュ」を発売。	日本製紙クレシアHP、201203
	行動	『森永乳業』がゲートトップ(屋根型)の紙容器包装牛乳を発売。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.255
1965 (昭和40)	学術	1月。科学技術庁資源調査会「食生活の体系的改善に資する食糧流通体系の近代化に関する報告(コールドチェーン報告)」を提出。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.258
	出来事	6月。阿賀野川有機水銀中毒事件発生。39～40年に阿賀野川流域で患者26人、死者5人を出す奇病発生。原因は、有機水銀で汚染されたニゴイの多量摂取。水俣病と同一原因と判明。1967(昭和42)年4月18日厚生省が、昭電工場の排水が原因と発表。	日本食品衛生協会ウェブサイト、201205、浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.260
	行動	6月。「ドンク本店」(兵庫神戸)がフランスのパン職人ピゴ氏を招聘。8月「ドンク東京青山店」で焼ききたのフランスパンを発売。この頃、首都圏のデパート地下食品売り場で、「オープンフレッシュベーカー」スタイルの店舗が普及。	松成容子『ドンクが語る美味いパン100の誕生物語』旭屋出版、2005、p.68、70、84
	行動	11月。「富士アルミニウム工業(現 フジマル工業)」(神奈川相模原)が、米国デュポン社からテフロン加工製品ライセンスを取得し、日本で始めてテフロンフライパンを発売。	『フジマル工業社案内(1993)』フジマル工業、1993、p.7
	資源	和歌山県上南部農協が実梅品種「南高」を育成。「南高」の由来は、高田貞輔(さだぐさ)が果実の大きい梅を見つけ栽培した高田梅の「高」と調査に協力した南部高校の「南高」に由来。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.259、和歌山県情報館HP、201301
	飲食物	「サッポロビール」がブルタブ方式の缶ビールを発売。缶蓋はアルミ、缶底と缶胴はスチール。	サッポロビールHP、201203
	飲食物	「大塚製薬」が各種ビタミンが入った炭酸栄養ドリンク「オロナミンCドリンク」を発売。	大塚製薬HP、201208
	飲食物	「理研ビタミン油(現 理研ビタミン)」(東京千代田)が、「生わかめわかめちゃん」を発売。1976(昭和51)年家庭用の乾燥わかめフレーク「ふえるわかめちゃん」を発売。	理研ビタミンHP、201205
	飲食物	「キッコマン」が「減塩しょうゆ」を発売。	キッコマンHP、201209
	飲食物	「藤沢薬品」が豆腐用凝固剤グルコノ-δ-ラクトンを発売。絹ごし豆腐製造に使用普及。	日本生活学会『生活学第二十五冊 食の一〇〇年』ドメス出版、2001、p.252
	飲食物	マールリン協同組合が、純植物性マールリン「ユニソーヤ」発売。後の各社の植物性マールリンに影響。	日本マールリン工業会『日本マールリン工業史第二巻』幸福房、1997、p.295
	企業	サッポロラーメンチェーン「札幌や」東京1号店が東京渋谷に開店。ラーメンチェーンの最初。	外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.170
	企業	食肉加工業を静岡沼津で創業。1969(昭和44)年「米久畜産販売サービス」設立。1978(昭和53)年「米久」に社名変更。	米久HP、201209
	行動	「肉のあくま」が愛知日進にレストランを開設。郊外レストランの最初。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.260
	行動	「山住時計計器(現 YAMASA)」が、日本万歩計「1日1万歩」の運動を契機に「万歩メーター」1号機を発売。	YAMASA HP、201203
	行動	「片岡物産」が英国紅茶「トワイニング」の日本総代理店となり輸入販売。	田島慎一『世界のお菓子あまた』新編社、2006、p.39、片岡物産HP、201208
1966 (昭和41)	行動	4月。「養老乃瀧」フランチャイズ第1号店を、板橋区成増に开出。	養老乃瀧グループHP、201203
	企業	8月22日。「フロンティア製茶」が静岡で創業。1969(昭和44)年「伊藤園」に社名変更。1985(昭和60)年缶入り緑茶の製品化に成功。	伊藤園HP、201208
	企業	12月。「大昌食品」が福岡で設立。焼肉栄養調味料・調合調味料の製造・販売。「焼肉一番」の製造を開始。1968(昭和43)年5月「味・塩・しょう油」の製造販売を開始。1994(平成6)年4月「ダイショー」に社名変更。	ダイショーHP、201209
	資源	北海道立十勝農業試験場(後藤寛治・砂田喜与志)が、ダイズ「トコスズ」を育成。登録。特性は大粒。ダズシントセンチュウ抵抗性。1971(昭和46)年より10年余、北海道の主導品種と成る。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.262
	資源	マダいの種苗生産軌道に乗る。全長8～15mmの後期仔魚5.5万尾を育成。(伯方島)	日本栽培漁業協会『日本栽培漁業協会20年史』日本栽培漁業協会、1983、p.53
	飲食物	「豊年りーバ(現 日本りーバ)」がマールリン「ラマ」を発売。1964(昭和39)年3月「豊年りーバ(現 日本りーバ)」は「ユニリーバ」と「豊年精油」の合併設立。	日本りーバHP、201308
	飲食物	「カゴメ」がプラスチックチューブ入りケチャップ発売。	カゴメHP、201203
	飲食物	「グリコ」が「ポッキーチョコレート」発売。	グリコHP、201401
	企業	「ソシエテ・ド・クイジーン・フランセーズ(現 マキシム・ド・バリ)」が東京で設立。東京銀座でレストラン「マキシム・ド・バリ」を開店。	マキシム・ド・バリHP、201209
	学術	科学技術庁資源局編集『日本食品アミノ酸組成公表表。収載食品数157。1986(昭和61)年に改訂。	
	行動	早川電機工業(現 シャープ)が国産初のターンテーブル式家庭用電子レンジ(R-600)を発売。	シャープHP、201203
	行動	「不二製油」がゲル形成能を有する大豆たん白製造法を完成。大豆たん白分離技術を開発。翌1967(昭和42)年12月大阪工場で分離大豆たん白の生産開始。分離大豆たん白「フジプロ」を発売。	不二製油HP、201203
	行動	「ライオン」が食器・野菜専用合成洗剤「マレモン」を発売。	ライオン油脂HP、201208
	行動	京王百貨店で「第1回有名駅弁と全国まいもの大会」(通称、京王百貨店駅弁大会)開催。その後、全国で駅弁大会が普及。	京王百貨店駅弁大会「駅弁大会」光文社、2001、p.14
1967 (昭和42)	企業	3月。「兩國食品」を設立。給食委託請負業務。1971(昭和46)年11月美演手打うどん「軒屋」1号店奈良ダイエー店を出店。1986(昭和61)年9月「グルマ軒屋」に社名変更。	グルマ軒屋HP、201208
	飲食物	4月。「サントリー」がわが国初の瓶詰生ビール「サントリービール(純生)」を発売。ビールを熱処理をせず、MF(マイクロフィルター)膜ろ過による製法。1968(昭和43)年「純生」缶ビールを発売。	サントリーHP、201212
	企業	5月。「エスエヌ食品」が兵庫西宮で設立。食肉加工品、加工調理食品、惣菜、ソース調味料の製造販売、食肉の販売業。2000(平成12)年8月「エスエヌ」に社名変更。	エスエヌHP、201209
	企業	6月。札幌ラーメン「どさん子」は青池保が設立。サッポロラーメン「どさん子」第1号店が東京両国で開店。	ホック21HP、201209
	企業	12月。居酒屋「王将(現 餃子の王将)」が京都四条大宮で第1号店を開店。	餃子の王将HP、201209
	企業	12月。「シャトレーゼ」が、山梨甲府で「大和アイス」と「甘太郎」を合併し設立。シュークリームを生産開始。和洋菓子、アイスクリーム、パン、飲料の製造販売及びFC店の全国展開。	シャトレーゼHP、201209
	資源	本田藤雄(園芸試験場久留米支場)がイチゴ品種「はるのか」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.268
	飲食物	「ネスレ日本」が「ネスカフェゴールドブレンド」を発売。	ネスレ日本HP、201205
	行動	英国の17歳のファッションモデル、ツイッキーが来日。このモデル以降、女性の体型のスリム志向が促進。	世相風俗観察会『現代風俗史年表』河出書房新社、1986、p.192
1968 (昭和43)	消費者	5月30日。「消費者保護基本法」制定。1970(昭和45)年改正。JAS規格による格付を受けているか否かに係らず、品質に関し適正な表示を義務付ける品質表示基準制度が設けられ、輸入品が制度の対象に追加。	
	飲食物	6月。「雪印乳業(現 雪印メグミルク)」が「雪印ネオマーガリンソフト」を発売。「冷蔵庫から出してすぐパンにぬれる」がキャッチフレーズ。家庭用マーガリンのソフト化、カップ入りの最初。	日本マーガリン工業会『日本マーガリン工業史第二巻』幸福房、1997、p.332,333
	企業	6月。「味の手帖」が東京渋谷で創業。月刊誌「味の手帖」を発行。	味の手帖HP、201308
	消費者	7月3日。食品添加物からズルチンが削除。	
	消費者	7月30日。「乳等省令」改正。牛乳・加工乳・乳飲料の日付表示が、販売曜日から製造年月日に改正。	
	行動	8月17日。コーヒ-牛乳やフルーツ牛乳等乳飲料の名称を、全国牛乳協会が募集した「ラト○○」と表示。消費者団体からの変更要請による。	全国牛乳協会『日本乳業100年の歩み』全国牛乳協会、1985、p.96,97
	消費者	8月30日。「缶詰の表示に関する公正競争規約」公示。1960(昭和35)年の牛肉大和煮の偽装事件が端緒。	
	行動	9月。「ダイヤ食品」が「フライパン」(サッポロ柳めん)発売。油脂分の旨味を補うため「液体スープ」の小袋を添付。	日本即席食品工業協会HP、201301
	消費者	10月。カネミ油症事件。西日本一帯に、米ぬか油を原因とする中毒患者が多数発生。原因は製造過程で混入したPCBによる。	日本食品衛生協会ウェブサイト201205
	加工	11月。「丸十物産」(香川高松)が冷凍ライスを商品化。チキンライス・焼きめし・釜飯・白飯などをレストランや給食業者向けに販売。一般家庭には1973(昭和48)年頃普及。	下川敏史『昭和・平成家庭史年表』河出書房新社、1997、p.368
	企業	12月17日。フランス菓子専門店「ルコント」は、フランス人パティシエのアンドレ・ルコントが東京六本木で創業。フランス人経営の洋菓子店の始まり。	洋菓子「東京五つ星の手みやげ」東京書籍、2004、p.150
	飲食物	「大塚食品工業(現 大塚食品)」が初の市販レトルト食品「ボンカレー」を発売。	大塚食品HP、201203
	飲食物	「明治製菓」がトウモロコシ原料のサクサク菓子「カール」を発売。	明治製菓HP、201203
	メディア	陳建民・黄昌泉・原田治『中国料理技術入門』を柴田書店から刊行。	
	学術	「調理科学研究会」が発足。1985(昭和60)年に「日本調理科学会」に名称変更。	日本調理科学会HP、201312
1969 (昭和44)	飲食物	3月。「愛媛県青果販売農協同組合(現 えひめ飲料)」が、100%天然ジュース「ボンジュース」を発売。	えひめ飲料HP、201203
	消費者	5月。「米穀自主流通制度(自主流通米制度)」発足。	
	メディア	6月。大塚力編『食生活近代史』を雄山閣出版から刊行。食品、歴史、民俗などの研究者8名の執筆により、主食、調味料、酒、食環境などの近代になってからの変遷を記述。	
	企業	11月。郊外型「玉川高島屋ショッピングセンター」が東京世田谷で開店。玉川高島屋と有名専門店125になり開始。	外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.180、玉川高島屋S-C HP、201209
	消費者	12月28日。食品添加物からチクロ(サイクラミン酸カルシウム及び同ナトリウム)が削除。	
	飲食物	「にんべん」がかつおぶし削りぶし「フレッシュパック」を発売。	にんべんHP、201203
	飲食物	「モロゾフ」がクリームチーズケーキ(カスタードクリームチーズケーキとも呼ばれる)を発売。後のチーズケーキブームの端緒。	猪井邦『お菓子の由来物語』幻冬舎ルネッサンス、2008、p.29、モロゾフHP、201209
	企業	コンビニ店「アピタミ」が大塚豊中に出店。	宮崎正樹『知っておきたい「食」の世界史』角川学芸出版、2006、p.220

年次	分類	記事	出典
1970 (昭和45)	企業	「ジャスコ」は「岡田屋」と「フタギ」と「シロ」の3社の共同仕入会社として設立。	石原武政・矢作敏行『日本の流通100年』有斐閣、2004、p.361
	企業	「ユニオン」は、「ほいでい」と「西川屋チェーン」と「タキヒー」の共同仕入会社として愛知で設立。	ユニオンHP、201203
	企業	「ユニー」は、「ほいでい」と「西川屋チェーン」と「タキヒー」の共同仕入会社として愛知で設立。	ユニオンHP、201203
	メディア	石毛直道『食生活を探検する』を講談社から刊行。食文化に関する学問的体系を提案。	
	メディア	月刊誌『近代食堂』を旭屋出版から創刊。1947(昭和22)年旭屋出版は編纂一が大阪で書店経営を開始。料理関係単行本多数発行。	
	行動	「山森食品醸造(現 ヤマモリ)」が透明袋入り「釜めしの素」を発売。	ヤマモリHP、201203
	行動	日本冷凍食品協会が、冷凍食品普及協会と冷凍魚協会の発展解消し設立。	日本冷凍食品協会『冷凍食品の事典』朝倉書店、2000、p.13、日本冷凍食品協会『日本冷凍食品協会40年史』日本冷凍食品協会、2009、p.6
	行動	「松下電器(現 パナソニック)」が2ドア冷凍冷蔵庫を発売。	パナソニックミュージアム松下幸之助歴史館HP、201212
	行動	「三共電器(現 サンデン)」が瓶容器入りの酒自動販売機を開発。これを「大関」が「ワンカップ大関」販売に採用。	鷲巣力『自動販売機の文化史』集英社、2003、p.128
	行動	1月。「象印マホービン」が「象印電子ジャー」を発売。外気温0度時の保温能力平均65℃(62-67℃)。	象印マホービンHP、201203
	行動	1月。学校給食における米飯、米粉混入パン、米加工品の利用実験が開始。	日本スポーツ振興センターHP、201301、浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.280
	学術	1月。山根昭美(鳥取県食品加工研究所)が二十世紀末を用いたのCaガス低温貯蔵試験中に、食品が凍らずに生き続けることのできる未凍結温度領域を発見。水氷貯蔵(近凍結温度での貯蔵)を提唱。	水氷協会HP、201308
	加工	2月。「不二精機(福岡)」が日本初のおにぎり自動成形機を発売。	不二精機HP、201205
	メディア	3月3日。平凡出版(現 マガジンハウス)の堀内誠一らが、女性週刊誌「an'an」1号を創刊。毎週水曜日に発行するファッション雑誌。若い女性の食行動記事の始まり。	
	出来事	3月。日本万国博覧会開催(大阪、3月14日~9月13日)。多くの国の料理が提供。	
企業	4月。「石井食品」が業界初のチルド流通の調理済みハンバーガー「チキンハンバーガー」を発売。1946(昭和21)年「石井食品」は千葉船橋で佃煮の製造業を創業。	石井食品HP、201205	
消費者	5月23日。「農林物資規格法改正」公布(6月20日施行)。日本農林規格(JAS規格)、品質表示等の適正化(一括表示事項(名称、原材料、期限表示など)の記載方法)の制定。		
企業	5月。「ダイエー」が東京町田でハンバーガー店「ドムドム原町田店」を開店。	外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.184、ダイエーHP、201209	
メディア	6月30日。篠田統『すしの本』を柴田書店から刊行。すしの発祥から現代のすしに至るまでを食文化史的に概観。食文化史という一つの分野を展望した著作。		
企業	7月4日。「日本ケンタッキー・フライド・チキン」は、万国博覧会に出店した実験店が大盛況であるのをうけて設立。11月21日愛知県古巣に日本の1号店(名古屋)を開店。	ケンタッキーフライドチキンHP、201203	
企業	7月。「ことぶき食品(現 すかいらーく)」が東京府中でファミリーレストラン「すかいらーく」1号店(国立店)を出店。	すかいらーくHP、201205	
企業	8月。「食品産業センター」が設立。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.282、食品産業センターHP、201308	
企業	10月。「ヤマザキ・ナビスコ」は「山崎製パン」が米国「ナビスコ」と提携し設立。ビスケット「ナビス」を発売。	田島慎一『世界中のお菓子あります』新潮社、2006、p.35、山崎製パンHP、201208	
飲食物	11月。「味の素」が「ほんだし」(かつお風味)を発売。	味の素HP、201208	
加工	「三共電器」が缶ビール自動販売機を発売。	鷲巣力『自動販売機の文化史』集英社、2003、p.129	
企業	「シネーフーズ」内に小僧寿し事業部開設。小僧寿しチェーンとしてのフランチャイズの全国展開に着手。	小僧寿しチェーンHP、201205	
企業	林原生物化学研究所は「林原(現 長瀬産業)」が岡山で創設。	林原HP、20120817	
メディア	田中静一編『中国食品事典』を書籍文物流通会から刊行。		
メディア	陳建民・黄昌泉・原田治『中国料理、宴席料理』を柴田書店から刊行。		
行動	牛乳瓶が180mLから200mLに切り替える。	林弘通『二〇世紀乳加工技術史』幸書房、2001、p.127	
消費者	「食酢の表示に関する公正競争規則」が制定。食酢とは醸造酢及び合成酢を示し表示が統一。		
1971 (昭和46)	消費者	1月。ウイスキー等輸入自由化実施。	
メディア	1月。日本テレビ系列「ごちそうさま」放送開始。高島忠夫夫妻がホストとして構成された最初の料理バラエティ番組、「味の素」の提供。	味の素株式会社『味の素をたがやすー味の素八十年史』味の素株式会社、1990、p.85	
消費者	3月5日。「果実飲料等の表示に関する公正競争規約」認定、告示。果汁100%の天然果汁に限りジュースと表示を許可。		
消費者	4月23日。「乳等省令」改正(6月1日施行)。乳脂肪分と全固形分により、アイスクリーム類をアイスクリーム、アイスマイルおよびラテアイスに分類し、成分規格等が設定。氷菓は別分類に規制。		
消費者	4月。有機塩素系農薬の販売の禁止及び制限を定める省令を制定。DDT剤の販売禁止、BHCおよびDリン剤の販売規制。		
飲食物	6月。「朝日麦酒(現 アサヒビール)」が日本初のアルミ缶入りビール発売。	アサヒビールHP、201203	
飲食物	6月。「丸美屋」が「麻婆豆腐の素」を発売。	丸美屋HP、201208	
企業	7月20日。「マクドナルド(現 日本マクドナルド)」が東京銀座三越に日本第1号店(銀座店)を開店。	日本マクドナルドHP、201203	
飲食物	9月。「日清食品」がカップラーメン「カップヌードル」を発売。	日清食品HP、201203	
飲食物	10月。「明治乳業」が米国「ボーデン社」と共同開発し、高級アイスクリーム「レディーボーデン」を発売。斬新な価格、容器の大きさ、パッケージデザイン。	明治乳業『おいしさと健康を求めて 明治乳業70年史』1987、p.142	
企業	12月。「ロイヤル(現 ロイヤルホールディングス)」が福岡北九州で「ロイヤルホスト」1号店を出店。1977(昭和52)年、東京三鷹に首都圏初のファミリーレストラン「ロイヤルホスト」を開店。	ロイヤルホールディングスHP、201209、外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.201	
資源	「坂田種苗(現 サカタのタネ)」がトウモロコシの新品種「ハニーバンタム」(商品名)を公表。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.287	
資源	長野県中信農業試験場が「ダイズ」エンレイを育成、登録。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.286	
飲食物	「明治乳業(現 明治)」が「明治プレーンヨーグルト」を発売。	明治HP、201203	
企業	「ミスタードーナツ」第1号店の菓店ショップが開店。フランチャイズ加盟店第1号店。	ミスタードーナツHP、201203	
メディア	「集英社」が20歳前後の女性を対象としたファッション雑誌「non・no」を創刊。	集英社HP、201203	
行動	「東芝」が家庭用もちつき機「もちつき」を発売。蒸すと揚ぐの2つの機能を合体。	東芝科学館HP、201205	
行動	「井上工業(現 クリナップ)」が流し台花シヤーズ「さくら」「しらゆり」「ひまわり」「オリーブ」を発売。1973(昭和48)年日本初のシステムキッチンを発売。	クリナップHP、201301	
消費者	ガット・ケネディ・ラウンド交渉妥結(1967(昭和42)年)を受け、ぶどう、りんご、グレープフルーツ、植物油類、チョコレート、ビスケット類、生きている牛、豚肉、紅茶、なたねの自由化。		
消費者	焼酎類を本格焼酎と呼ぶ。2002(平成14)年11月1日「本格焼酎」の定義が確立。	『酒類総合研究所の歩み』酒類総合研究所、平成17、p.243	
消費者	「明治乳業(現 明治)」が製造の乳製品で、植物性脂肪(ヤシ油)を乳脂肪と置換した、いわゆる異脂防置換牛乳事件発生。	林弘通『二〇世紀乳加工技術史』幸書房、2001、p.136	
消費者	日本穀物検定協会が米の食味ランキングを実施。炊飯した白飯を実際に試食して評価する食味官能試験に基づき、昭和46年産米から毎年全国規模の産地品種について実施。	日本穀物検定協会HP、201203	
消費者	日本有機農業研究会が有機農業の研究者を中心に結成。「有機農業」の表現を初めて使用。	日本有機農業研究会HP、201203	
消費者	2月。「ロッテリア」は「ロッテ」が東京で設立。7月浦和バイアウトショップオープン。9月東京日本橋で1号店を開店。	ロッテリアHP、201205	
1972 (昭和47)	企業	5月。「犀崎電機(現 ホシザキ電機)」がハンバーガー自動販売機(HV-100A)の製造販売開始。世界で初めて冷蔵庫保存電子加熱方式を採用。	ホシザキ電機HP、201203、鷲巣力『自動販売機の文化史』集英社、2003、p.133
企業	6月。中食惣菜「ロック・フィールド」は岩田弘三が兵庫神戸で創業。大丸神戸店で1号店を出店。総菜の製造販売。	ロック・フィールド会社HP、201209	
企業	6月。「全国農協牛乳直販」は「全国農協同組合連合会(全農)」が牛乳販売会社として設立。国内初の成分無調整牛乳「農協牛乳」を首都圏で販売。	菅印メダルクHP、201308	
企業	7月。「モス・フード・サービス」が東京品川で設立。3月「モスバーガー」は東武東上線成増に実験店を開店。6月1号店を成増で開店。	モスフードサービスHP、201203	
行動	8月。カナダ産クマログロがはじめて空輸によって、築地魚市場のせりに登場。輸入マグロの最初。	サーシャ・アイゼンバーク、小川敏子訳『スシエコノミー』、日本経済新聞、2008、p.43	
消費者	9月1日。通商産業省(現 経済産業省) 通達「電気機器のPCB(ポリ塩化ビフェニル)絶縁油の使用禁止」。		
企業	11月。共同コーヒー焙煎加工販売会社「ユニカフェ」は、コーヒー生豆商社「ワタル商会」ほか57社の共同出資により東京で設立。レギュラーコーヒー及びびろーヒー加工品の製造販売、食品、食材及び飲料等の仕入販売。	ユニカフェHP、201209	
メディア	12月。中尾佐助『料理の起源』を日本放送出版協会から刊行。		
学術	12月。食品総合研究所が食糧研究所から農林省の付属機関に改組。	食品総合研究所HP、201203	
資源	日本園芸生産研究所がネット型メロン品種「アムス」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.292	
資源	果樹試験場がニホンナシ品種「豊水(なし農林8号)」を登録。1954(昭和29)年幸水とイー33(石井早生×二十世紀)を交配、育成。	農産・食品産業技術総合研究機構果樹研究所HP、201308	
加工	真空冷却法が青果物の予冷法(Precooling)、レタス・キャベツ・ホウレンソウなど葉菜類の低温輸送の前処理として採用開始。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.293	
飲食物	「カルビー」が「ベシイシ」原料のスナック「サッポロポテト」を発売。	カルビーHP、201203	
飲食物	「サントリー」が500mLの缶ビールを発売。缶ビール容器多様化の始まり。	下川史『昭和・平成家庭史年表』河出書房新社、1997、p.400	
飲食物	「グリコ乳業」が容易に器に空けられるプラスチック容器入りのプリン「プッチンプリン」を発売。	グリコ乳業HP、201301	

比較食文化史年表の作成について（日本：昭和期Ⅱ（1961-1988））

年次	分類	記事	出典
	企業	「片岡物産」がベルギー「ゴディバ」チョコレートの代理店となり、輸入販売。	田島慎一『世界中のお菓子あります』新報社、2006、p.40、片岡物産HP、201209
	学術	栄養学会の答申によって栄養調査の一部改正。食生活状況調査(各種生活要因と食生活に関するアンケート)や身体状況の測定を導入。調査日数の短縮、サブシメットの再検討を実施。	日本栄養士会栄養指導研究所監修『戦後昭和の栄養調査』第一版、1998、p.5、6
	メディア	辻静雄『フランス料理の学び方』を三洋出版貿易から刊行。	
	メディア	篠田統・田中静一編『中国食経叢書 上・下』を書籍文物流通会から刊行。原典は『齊民要術』など中国の古書39件の影印版。	
	消費者	物価統制令廃止により消費者米価が自由化。	
	消費者	野菜価格安定基金(旧 野菜供給安定基金、現 農畜産業振興機構)が設立。	農畜産業振興機構HP、201205
	出来事	ストックホルムの国連人権環境会議で商業捕鯨の10年間禁止勧告を決議。直後の国際捕鯨委員会総会で否決(以後、鯨保護強化の傾向)。	日本とクジラ展実行委員会『日本とクジラ』福岡市博物館、2011、p.246
1973 (昭和48)	消費者	3月20日、公正取引委員会告示第4号(9月20日施行)。無果汁の清涼飲料水等について無果汁表示を義務づけ。	
	企業	5月。「マリアス商会」は正垣泰彦が千葉市川で設立し、イタリアレストラン「サイゼリヤ」を開店。1992(平成4)年「サイゼリヤ」に商号変更。	サイゼリヤHP、201301
	飲食物	5月。「スギヨ」(石川七尾)が「かにかま」の前身「かにあし(かに風味かまぼこ)」を発売。	スギヨHP、201203
	飲食物	6月。「全国農協直販」が「農協果汁オレンジ1000ml」を発売。	雪印メグミルクHP、201308
	企業	6月。「日本ビザハット」は、「住友商事」と「朝日酒造」と米国ビザハットの合併で設立。10月「ビザハット」第1号店を東京茗荷谷で開店。	外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.191
	企業	9月。コンビニエンスストア「ファミリーマート」は「西友ストア」が埼玉狭山で開店。	ファミリーマートHP、201209
	企業	11月。「ヨークセブン(現 セブンイレブン・ジャパン)」は、「イトーヨーカード」が米国「サウスランド(現 7-Eleven, Inc.)」とエリアサービスおよびライセンス契約し設立。翌1974(昭和49)年豊洲店(第1号)を東京江東区で開店。	セブンイレブン・ジャパンHP、201209
	企業	11月。「デニーズジャパン」は、「イトーヨーカード」が米国レストランチェーン「デニーズ」とライセンス契約し設立。	イトーヨーカードHP、201203
	出来事	11月。オイルショックのためトイレットペーパー・洗剤などの買占め騒動。	
	資源	井川秀雄(静岡)がブドウ品種「ピオーネ」を種苗名称登録。1957(昭和32)年「巨峰」と「カノン・ホールマスカット」を交配して育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.297
	資源	北海道札幌アイントP照射センターは、農水省が農産物放射線照射利用実験事業として建設。翌1974(昭和49)年放射防止バレイシヨを出版。	JA札幌HP、201308
	資源	瀬戸内海栽培漁業協会(現 水産総合研究センター栽培漁業センター)がマダイ稚魚の放流を本格的に開始。	日本水産学会出版委員会編『現代の水産学』恒星社厚生閣、1994、p.169
	加工	「三菱瓦斯化学(現 三菱ガス化学)」が、脱酸素剤「エージレス」(微粒子鉄粉を主体とした製剤)を開発、その食品品質保持への導入研究開始。	三菱ガス化学HP、201205
	飲食物	「ハウス食品」が「シャンメシよゆ味」を発売。インスタントラーメン業界に参入。	ハウス食品HP、201203
	飲食物	「明治乳業(現 明治)」がプレーンヨーグルト「明治ブルガリアヨーグルト」を発売。	明治HP、201209
	メディア	石毛直道『世界の食文化』をドメス出版から刊行。	
	メディア	『包丁人味平』(原作:牛次郎 漫画:ビッグ錠)が『週刊少年ジャンプ』(集英社)で連載(1977年まで)。その後、単行本が刊行。	
	行動	「タイヘイ」が一般家庭向け献立材料宅配「ファミリーセット」を販売。	タイヘイHP、201203
	飲食物	2月。「水谷園」がインスタントみそ汁「あさげ」(赤白合わせみそ)を発売。	水谷園HP、201203
1974 (昭和49)	資源	2月。宮城・神奈川・愛知・富山・長崎・熊本の6か所に栽培漁業センターが設立。(その後、水産総合研究センターの10か所の栽培漁業センターは、水産総合研究センターの各研究所と統合)	水産総合研究センター栽培漁業センターHP、201308
	企業	4月。「バスキンロピンス」が「サータワンアイスクリュームショップ」チェーン1号店を東京目黒で開店。1973(昭和48)年12月、不二家が米国のバスキン・ロピンス社との合併事業を行う目的でビー・アール・ジャパンを設立。	B-R サータワンアイスクリュームHP、201203
	消費者	5月。日本消費者連盟が発足。1969(昭和44)年4月日本消費者連盟創立委員会が結成。	日本消費者連盟HP、201205
	加工	8月。「フジビヨナプロテイン」は、「不二製油」と米国「ラストビヨナ」の合併会社として設立。世界で初の構造化繊維状ダイスタック製造販売。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.302
	企業	9月。つけ麺店「中華つけ麺大王」第1号店は同業商事が東京荻窪で開店。	外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.195
	資源	生食用ミニトマト「プチ」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.301
	資源	「タキタ種苗」が宮重ダイコン品種「長岡交配網目総太り」を育成・発売。青首ダイコンブームの火付け役。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.301
	資源	北海道立十勝農業試験場がアズキ品種「アカネダイナゴ(あずき農林1号)」を育成。北海道で優良品種に採用。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.300
	企業	「ロソソ」は、「ダイエー」と米国「コンソリデーテッド・フーズ」のコンビニエンスストア部門「ロソソミルク」と提携し、設立。1975(昭和50)年6月14日1号店「桜店」を大阪豊中が開店。同年9月フランチャイズ1号店「桃山店」を開店し、チェーン店開店。	石原武政・矢作敏行『日本の流通100年』有斐閣、2004、p.362、ロソソHP、201203
	メディア	中瀬須磨子『紅茶キノ健康法』を地産出版から刊行。	
	メディア	田中静一編『中国食品事典』を書籍文物流通会から刊行。	
	メディア	篠田統『中国食文化』を柴田書店から刊行。	
	消費者	日ソの漁業交渉で南カムチャッカのタラバガノの母船式操業が禁止。1914(大正3)年以降の蟹工船の終焉。	日本言語協会監修『言語学』東洋館出版、2002、p.316、下川秋史『昭和・平成家庭史年表』河出書房新社、1997、p.416
	消費者	全国小売酒販組合が自主規制として酒類自動販売機の時間制限を設定(午後11時から翌朝5時まで販売停止)。	蟹工船『自動販売機の文化史』集英社、2003、p.132
	消費者	「食品衛生法」により、合成保存料AF-2の指定取り消し。AF-2添加食品の回収、破棄を決定。	
1975 (昭和50)	企業	1月。「ダイドー」は「大同薬品工業」が大坂東島で清涼飲料の製造及び販売会社として設立。11月「ダイドーブレンドコーヒー」を発売。1984(昭和59)年6月「ダイドーリンコ」に商号変更。	ダイドーリンコHP、201209
	学術	6月。高橋暁正東京大学医学部講師が学校給食用L-リジンに3、4-ベンツピンを検出し、L-リジン発酵原料のノルマルパラビン由来の疑いがある旨を発表。	文科省 学校給食用L-リジンの安全性について 昭和五〇年六月二〇日 各都道府県教育委員会教育長あて 文部省体育局長通知
	行動	10月4日。「料理天国」(雪印乳業(現 雪印メグミルク)提供)放映開始。TBSで放送されていた料理バラエティ番組。1992(平成4)年まで放映。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.306
	飲食物	「まるか食品」(群馬伊勢崎)が四角い容器カップめん「ベヤングソースやきそば」を発売。「顔は四角でも、味はまろやか」という宣伝。	まるか食品HP、201203
	飲食物	「メロディアン」(大阪八尾)が「メロディアンミニ」を製造発売。日本初の一人用のコーヒー添加植物性クリームのミニテラパック包装。1977(昭和52)年プラスチックポーションパック包装「ポーションメロディアンミニ」を発売。	メロディアンHP、201209
	メディア	モンタニエ著、カルティエス改訂『フランス料理百科事典全6巻、別巻』を三洋出版貿易から刊行開始。1975(昭和50)年~1979(昭和54)年、A~Eまで、フランス料理に関する食材、調理法、メニュー、食器、厨房器具などの解説。	
	行動	厚生省より、栄養教室を終了して地域で活動するリーダーを「食生活改善推進員」の名称で呼ぶとの方針が提示。	日本生活協会のHP、201308
	消費者	日本栄養士会秋田県支部が「低塩をすすめるための具体的な30ヶ条」を発表(栄養秋田 No.13)1975、p8)。日本国内における減塩運動のさきがけ。	『栄養と料理』第77巻、2号、女子栄養大学出版部、2013、p.16
	消費者	サッカリンナトリウムは、1973(昭和48)年4月28日に発がん性の疑いがあると使用が「特殊栄養食品」のみに限定されたが、使用基準が改正され使用量等の規制が緩和。	日本食品化学研究振興財団『二十世紀日本食品添加物史』日本食品衛生協会、2010、p.484
	消費者	ロングライフミルク(L牛乳)許可。翌1976(昭和51)年市販開始(低温流通)。1985(昭和60)年に常温流通認可(乳等省令)。	
1976 (昭和51)	飲食物	1月。「ヤマザキナビスコ」が日本初の成型ポテトチップ「チップスター」を発売。	ヤマザキナビスコHP、201203
	企業	1月。「大和運輸(現 ヤマト運輸)」が関東一円において小口貨物の特色宅配システム「宅急便」を開始。	ヤマト運輸HP、201203
	消費者	2月10日。「学校給食法施行規則等の一部を改正する省令」公布。米飯を学校給食制度上に位置付け。当時の代表的な献立としては、カレーライス、牛乳、スープ、果物など。	文部科学省HP、201308、日本スポーツ振興センターHP、201301
	学術	2月。日本初のワイン専門学校「サントリーソムリエスクール」(佐佐木三理事長、鴨川場比古校長)が開校。	外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業』ビジネス社、1992、p.198
	企業	6月。「日本共同捕鯨」は「大洋」と「極洋」と「水戸」など大手六社の捕鯨部門を統合し設立。	日本とクジラ展実行委員会『日本とクジラ』福岡市博物館、2011、p.246
	企業	2月。持ち帰り弁当「ほっかほっか亭」が埼玉草加で1号店を開店。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.310
	飲食物	8月。「日清食品」がカップ入りインスタント和風麺「どん兵衛きつね」を発売。	日清食品HP、201203
	行動	12月。「三洋自販機」が「ホット&コールド」を発売。一台で同時にホットとコールドの飲料を自販機で提供。	全国清涼飲料工業会のみの情報部HP、201205
	企業	12月。「ジャンプフーズ」は伊藤忠商事が千葉長生で設立。清涼飲料の受託製造およびプラスチック容器製造。	ジャンプフーズHP、201209
	加工	「ナガセ生化学工業(現 ナガセケムテックス)」が、異性化糖生産が固定化酵素法に切り替え。バイオリアクターとして固定化グルコースイソメラーゼを使用。	日本酵素協会HP、201312
	加工	「ノボインダストリー」(現 ノボザイムズジャパン)は、産業用固定化酵素として初の異性化糖製造用グルコースイソメラーゼ「ゼウォートザイム(TM)」を発売。	ノボザイムズジャパンHP、201312
	飲食物	「高梨乳業」(神奈川横浜)が日本初の「ローファットミルク」を発売。	タカナシ乳業HP、201203
	企業	「東洋キャンベル」は「東洋水産」と米国「キャンベル」が合併し設立。「V8野菜ジュース」の国産化開始。1962(昭和37)年から輸入。1983(昭和58)年合併解消。	下川秋史『昭和・平成家庭史年表』河出書房新社、1997、p.434、キャンベルHP、201205
	メディア	布目潮編『中国の茶書(東洋文庫289)』を平凡社から刊行。中国の茶書9点の翻訳版。	
	行動	「FOODEX JAPAN/国際食品・飲料展」第1回が千葉幕張メッセで開催。	FOODEX JAPAN2012HP、201205
1977 (昭和52)	飲食物	6月。「森永乳業」が発酵乳「森永ビピダス」(ビピダス菌入りヨーグルト)を発売。	森永乳業HP、201203
	学術	9月。「酪農と乳の歴史館」は北海道製酪販売組合(現 雪印メグミルク)の創立50周年を記念して北海道札幌で開設。	雪印メグミルクHP、201203

年次	分類	記事	出典	
1978 (昭和53)	企業	10月。「日本マクドナルド」が東京杉並でドライブスルー店舗を開店。	日本マクドナルドHP、201208、外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業ビジネス』、1992、p.202	
	学術	11月、国立民族学博物館(初代館長梅棹忠夫)が大坂吹田に開館。文化人類学・民族学に関する調査・研究、民族資料の収集・公開などの活動をおこない、諸民族についての認識と理解を深めることを目的。	国立民族学博物館HP、201203	
	資源	榎原正蔵(山梨、権原葡萄研究所)がブドウ品種「甲斐路」を種苗名称登録。1955(昭和30)年フレーム・トーカーとネオマスカットを交配して育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.313	
	資源	「坂田種苗(現 サカタのタネ)」がネット型メロン品種「アンデス」を育成。	サカタのタネHP、201203、浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.313	
	飲食物	「紀文」が豆乳の製造・販売を開始。	紀文HP、201203	
	飲食物	「片岡物産」がオランダ「バンホーテン(VAN HOUTEN)」の総代理店となり、ココアを輸入販売。	田島慎一『世界中のお菓子あります』新潮社、2006、p.40、片岡物産HP、201209	
	企業	移転販売車輦「八ちゃん堂たこ焼き」が広島福山で創業。翌1978(昭和53)年「八ちゃん堂」を設立。1985(昭和60)年「冷凍たこ焼き・冷凍お好み焼き」を製造販売。	八ちゃん堂HP、201209	
	メディア	『日本農業全集』第1回配本(～1999(平成11年)12月30日、全72巻)を農山漁村文化協会から刊行。『農業全集(巻一～巻五)』(宮崎安貞著、山田龍雄他解説)などを収録。		
	メディア	月刊誌「an-an famille クロワッサン」が平凡出版(現 マガジンハウス)より創刊。1978(昭和53)年5月隔週刊「クロワッサン」として発行。		
	1979 (昭和54)	消費者	1月、厚生省(現 厚生労働省)が食品漂白剤の過酸化水素が発ガン性の恐れで、生めん類、魚肉わり製品への使用禁止を通達。	
出来事		5月20日。新東京国際空港開港(千葉成田)。		
飲食物		6月。「エバラ食品」(神奈川横浜)が焼肉のたれ「黄金の味」を発売。	エバラ食品HP、201208	
企業		8月。フランチャイズ店「つば八」1号店が東京新宿で開店。居酒屋フランチャイズ・チェーン展開を開始。1978(昭和53)年「つば八」は北海道札幌で創業。	つば八HP、201208	
出来事		10月。「ショッピングセンターアルパ」が東京池袋で全館開業し、「サンシャインシティ」完成。専門店街「アルパ」200店舗のうち三分の一を飲食店が占める。	サンシャインシティHP、201208、外食産業総合調査研究センター編『日本の食文化と外食産業ビジネス』、1992、p.205	
飲食物		「雪印乳業(現 雪印メグミルク)」が乳糖分解乳「雪印アカデシ(現 おなかによさしく)」を発売。	雪印メグミルクHP、201301	
飲食物		「セブンイレブン」が「バリコフィルム」の考案により、業界初の手巻きタイプのおにぎりを発売。	セブンイレブン・ジャパンHP、201205	
メディア		篠田統『中国食物史の研究』を八坂書房から刊行。		
行動		第1次国民健康づくり対策(～1988(昭和63)年)実施。生涯を通じた健康づくり、健康づくりの3要素(栄養、運動、休養)の健康増進事業の推進。	厚生労働省HP、201301	
行動		「ダイエー」および「三越」がJANコードを制定し、POS(販売時点情報管理)システムの開始。1982(昭和57)年、「セブンイレブン」がPOS(販売時点情報管理)システム開始。EOB(電子発注台帳)による発注開始。	日経MJ(流通新聞) 2013年6月28日。セブンイレブン・ジャパンHP、201203	
1980 (昭和55)	メディア	2月。日本民俗学会編『日本民俗事典』を弘文堂から刊行。食生活史に関する記述が多数。		
	企業	12月。コンビニエンスストア「サンエブリ」が山崎製パンにより設立。	山崎製パンHP、201203	
	資源	IWC(国際捕鯨委員会)がインド洋サンクチュアリ(保護区)を提案可決。	小松正之『くらげの真実』地球社、2001、p.213、日本捕鯨協会HP、201303	
	飲食物	「ハウス食品」がインスタント種「うまかつちゃん」を発売。	ハウス食品HP、201203	
	学術	「サントリーウイスキー博物館」が白州蒸留所内(山梨北杜)に開館。	サントリーHP、201203	
	行動	「松下電器(現 パナソニック)」が加熱過程をマイコンで自動的にコントロールするマイコンジャー炊飯器を発売。	パナソニックHP、201203	
	消費者	カナダから北海道に輸入したサホーク種め羊にスクレイブ病発生。病原体は狂牛病と関連。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.320	
	企業	4月。「ドールコーヒーショップ」は「ドールコーヒー」が東京原宿で出店。	ドールコーヒーHP、201208	
	行動	4月。「日本リーバ(現 ユニリーバ・ジャパン)」がクリームクレンザー「ジフ」を発売。	ユニリーバ・ジャパンHP、201308	
	出来事	7月、厚生省(現 厚生労働省)が昭和54年簡易生命表を発表。平均寿命は男73.46歳、女78.89歳、男は世界1位、女は2位。1984(昭和59)6月。男74.20歳、女79.78歳、日本は世界一の長寿国になる。		
企業	10月。「味の素ダノン」は「味の素」と「ダノン」が提携し設立。「ダノン」の発酵乳を生産発売開始。	味の素HP、201203		
メディア	10月。辻静雄『現代フランス料理全集全6巻』を柴田書店から刊行。			
メディア	12月。石毛直道・辻静雄・中尾佐助監修『週刊朝日百科 世界の食べ物』(全140冊)を朝日新聞社から刊行開始。～1983(昭和58)年。			
飲食物	「大塚製薬」が清涼飲料「ボカリスエット」を発売。発汗により失われた水分、イオン(電解質)を補給する飲料。	大塚製薬HP、201203		
飲食物	「スギノ」(石川七尾)が「日本カーバイト」で開発された人造イクラを発売。	日経産業新聞 1984年11月16日		
企業	洋麺屋「ビエトロ」は村田邦彦が福岡天神で創業。食品の製造・販売事業・レストラン事業等。	ビエトロHP、201208		
学術	味の素主催「食の文化シンポジウム」が東京港区で開催。1989(平成元)年4月「味の素」が「味の素食の文化センター」を設立。主な事業として「食の文化フォーラム」、「食の文化ライブラリー」の運営、食文化誌「ヴェスタ」の出版、公開シンポジウムなど。	味の素文化センターHP、201308、味の素HP、201203		
メディア	『食物本草大成』全12巻を臨川書店から刊行。江戸期に刊行された『宜禁本草』、『関南食物本草』など、本草書30点を集成。			
メディア	辻静雄『Japanese Cooking - A Simple Art』を講談社から刊行。著名な米国人作家でありかつ食評論家のM.F.K.フィッシャーが序文を執筆。英文による日本料理の解説書として国際的に高い評価を受けた著作。			
行動	「日本国際食品産業見本市(FOODTEC)」は大阪国際見本市委員会が大阪で開催。以後定期的に開催。	農林水産技術会議事務局編『昭和農業技術発達史第6巻』農山漁村文化協会、1997、p.589		
行動	全国酪菓子工業協同組合がホワイトデーを開始。	全国酪菓子工業協同組合HP、201205		
1981 (昭和56)	消費者	6月11日。「食糧管理法」の一部を改正。「配給の統制」から「流通の規制」へと改め、コメの自由流通制度を法定化。		
	加工	10月。「鈴茂機械工業(現 鈴茂器工)」(埼玉比企)がST-77型寿命計ロボット1号機を開発。	鈴茂器工HP、201203	
	飲食物	10月。「明星食品」が高級即席ラーメン「中華三昧(広東風拉麺、北京風湯麺、四川風拉麺)」を発売。	明星食品HP、201203	
	資源	ダイズ「新丹波黒」が京都府の銘柄品種として普及開始。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.327	
	飲食物	「サントリー」が米国「ドワイザー」のビールを輸入販売を開始。	小菅桂子『近代日本の食文化年表』雄山閣、1997、p.240	
	企業	「伊藤園」が缶入りウーロン茶を発売。	伊藤園HP、201208	
	メディア	吉井始子編『翻刻江戸時代料理本集成』巻10冊・別巻1冊を臨川書店から刊行。『料理物語』古今料理集など江戸期に刊行された料理書を集成。	臨川書店HP、201205	
	行動	全国食生活改善推進員団体連絡会議が「母と子の料理教室」を開始。	日本食生活協会HP、201205	
	行動	山形の郵便局でサクランボ小包みを開始(ふるさと小包の発祥)。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.328	
	出来事	為替相場1ドル200円を割る。		
1982 (昭和57)	消費者	2月。食品衛生法が改正され清涼飲料用にPETボトル使用の認可。		
	飲食物	3月。「アサヒ飲料」が東京墨田で設立。前身は「三ツ矢フーズ」。	アサヒ飲料HP、201301	
	飲食物	9月。冷凍青汁「キューサイ青汁」(ケール原料)を製造販売。1965(昭和40)年10月長谷川常雄が福岡で菓子製造販売会社を創業。1995(平成7)年3月「キューサイ」に商号変更。キューサイ青汁など、健康食品等の製造販売。青汁ブームの原点。	キューサイHP、201209	
	企業	「西武百貨店」が池袋店で食品館開設。百貨店の大型食品売場の草分け。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.333	
	学術	科学技術庁資源調査会編『訂正日本食品標準成分表』公表。収載品目数1621。主な食品についてわが国独自のエネルギー換算係数を食品別、成分別に作成して72品目に適用。		
	学術	白鹿記念酒造博物館が兵庫西宮で開館。「辰馬本家酒造」の創業320周年記念事業。月桂冠大倉記念館が京都伏見で開館。1月桂冠が、日本酒の歴史・文化・伏見の酒造りを紹介。白鶴酒造資料館が兵庫神戸で開館。白鶴酒造が旧本店1号蔵を整備。	白鹿HP、201203、月桂冠HP、201203、白鶴酒造HP、201205、日外アソシエーツ編『企業博物館事典』伊豆屋書店、2003、p.125、116、127、	
	消費者	TWCで商業捕鯨の一時休止(モトリアム)採択。日本、ノルウェー、ベルギー、ソ連が異議申立。	日本とクジラ展実行委員会『日本とクジラ』福岡市博物館、2011、p.246、日本捕鯨協会HP、201205	
	1983 (昭和58)	学術	3月。国立歴史民俗博物館が千葉佐倉に開館。日本の歴史と文化について総合的に研究・展示。	国立歴史民俗博物館HP、201312
		飲食物	4月。「大塚製薬」がバランス栄養食「カロリーメイト」を発売。	大塚製薬HP、201208
		消費者	5月20日。「家畜改良増殖法」改正公布(11月19日施行)。家畜受精卵移植に関する規制の創設、および家畜の改良増殖の国際化に対応し家畜人工授精用精液の譲渡等の制限の緩和。	
企業		7月。「雪国まいたけ」は大平喜信が新潟南魚沼で設立。まいたけの生産販売を開始。	雪国まいたけHP、201208	
消費者		8月27日。「食品衛生法施行規則」改正により、アスパルテーム等11品目が添加物指定。		
飲食物		10月。「サトウ食品」が包装餅「つきたてシングルパック」の製造販売を開始。	サトウ食品HP、201205	
消費者		12月2日。「フグの衛生確保について」厚生省環境衛生局長通知。フグの調理・販売に関する統一基準をまとめ、キモ(肝臓)の調理と販売を禁止。		
資源		種苗会社(愛知)がイチゴ品種「アイベリー」を開発。「宝文」と「ダナー」を交配。1粒が50から100gで普通の3倍以上。	下川敏史『昭和・平成家庭史年表』河出書房新社、1997、p.496	
資源		本多藤雄(野菜試験場久留米支場)らがイチゴ品種「とよのか」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.337	
飲食物		「ハウス食品」が「六甲のおいしい水」を発売し、飲料業界に進出。日本国内での家庭用ミネラルウォーターのさきがけ的存在。現在は「アサヒ飲料」が「おいしい水 六甲」を販売。	ハウス食品HP、201312、アサヒ飲料HP、201312	
飲食物	「ハウス食品」が高級レトルトカレー「カレーマールシェ」を発売。	ハウス食品HP、201208		
メディア	NHK「きょうの料理」が土曜日に男性向け「男の料理」を放映開始。	NHK出版HP、201205		

比較食文化史年表の作成について（日本：昭和期Ⅱ（1961-1988））

年次	分類	記事	出典
	メディア	劇画シリーズ『美味しんぼ』（原作：雁屋哲、作画：花映アキラ）が漫画雑誌『ビッグコミックスピリッツ』（小学館）に連載開始。その後、単行本としても刊行。	
	メディア	Asako Kishi "Sushi: A Light and Right Diet" (Japan Publications, Inc) が出版。岸朝子著、英語ですしを紹介した本。	
	消費者	公正取引委員会が「泡盛の表示に関する公正競争規約」制定。泡盛は米麹・黒麹菌に限定。	
1984 (昭和59)	飲食物	2月。「味の素」がノンカロリー甘味料「Pal Sweet 1/60」を発売。合成甘味料アスバルテムを主原料。	味の素HP、201209
	学術	2月。日本伝統食品研究会が設立。機関紙『伝統食品の研究』を刊行。	
	学術	3月。「村岡総本舗羊羹資料館」が佐賀小城で開館。	村岡総本舗HP、201203
	出来事	3月～1985 (昭和60)年8月。グリコ・森永事件発生。京阪神のグリコ・森永をはじめとした食品会社への脅迫28件。かい人21面相事事件。	
	企業	8月。「ハーゲンダッツジャパン」を設立。11月「ハーゲンダッツショップ 青山店」国内1号店を東京青山で開店。高脂肪・低オリーブレーンのスーパープレミアムアイスクリームの販売開始。	ハーゲンダッツジャパンHP、201204。林弘通『二〇世紀乳加工技術史』辛書房、2001、p.342
	資源	9月。秋田県農業試験場が米品種「アキタコマチ」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.340
	資源	11月。岩手県種畜牧場（現 家畜改良センター岩手牧場）で国内初の牛分割受精移植による一卵性双子を出産。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.341
	資源	農業研究センターがサツマイモ品種「ベニアズマ」を育成。早期肥大性、外観形状、食味良。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.340
	飲食物	「宝酒造」が缶入り「タカラcanチューハイ」（甲類焼酎を原料）を発売。	宝酒造HP、201203
	学術	文部省（現 文部科学省）特定研究「食品機能の系統的解析と展開研究」を開始（1986 (昭和61)年）まで。「機能性食品」という用語が一般化。	
	メディア	日本の食生活全集編集委員会編『日本の食生活全集』全50巻を農山漁村文化協会から刊行（1993 (平成5)年まで）。47都道府県及びアラスカについて、全国300地点、大正後期から昭和初期（1930年頃）の食生活を当時の家事担当者である話者（女性）5000人から聞き書きした記録（収録料理数52000点）。2000 (平成2)年『CD-ROM版日本の食生活全集』を刊行。	
1985 (昭和60)	企業	4月。「日本たばこ産業」が設立。日本専売公社の事業を承継。国内及び海外たばこ事業に加え、医薬事業、食品事業を展開。	日本たばこ産業HP、201208
	出来事	6月25日。「栄養士法」及び「栄養改善法」一部改正（昭和62年4月1日施行）。栄養士試験が廃止。栄養士免許は養成施設を卒業した者のみに与えられ、管理栄養士の登録は管理栄養士国家試験に合格した者に限られる。	
	資源	九州農業試験場がサツマイモ品種「ベニハヤト」を育成。加工食品用、高カロチン。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.345
	資源	「タキイ種苗」がトマト品種「桃太郎」を育成。夏秋期栽培用完全系品種。	タキイ種苗HP、201309
	加工	「富久娘酒造」が加熱機能つき缶入り日本酒富久娘「燗番娘」250mLを発売。（現在は販売停止）	北産業HP、201205
	企業	「ハウス食品工業（現 ハウス食品）」が電子レンジ専用食品「レンジグルメ」を発売。ケーキ類、麺類など。	ハウス食品HP、201203
	企業	「伊藤園」が缶入り煎茶「お〜いお茶」の前身）を販売。缶内の酸除去により、緑茶の品質を保持する「T-Nプロセッサ」を開発。	伊藤園HP、201203
	企業	「第1回食博覧会・大阪」が開催。4年に一度のペースで大阪で開催。	食博覧会・大阪HP、201204
	メディア	料理雑誌「オレンジページ」が「ダイエー」から創刊。1988 (平成元)年「オレンジページ」を設立。	
	メディア	鈴木その子『やせたい人は食べなさい』をトクノから刊行。1999 (平成11)年『やせたい人は食べなさい 決定版』を祥伝社から刊行。	
	消費者	「マズワイン」が、有毒物質ジエチレンジクロールが含有されたオーストラリア産、西ドイツ産ワインを輸入し、自社ワインに配合したものを販売したことが判明し、社会問題となる。	世相風俗観察会『現代風俗史年表』河出書房新社、1986、p.373。浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.347
	消費者	厚生省「健康づくりのための食生活指針」が策定。生活習慣病予防を目的とし、「1日30食品摂取を提唱」。	
1986 (昭和61)	出来事	4月26日。ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で、人為的ミスによる大規模な原発事故発生。4月28日発表。	
	企業	10月。ビザデリアリーショップ「シカゴピッツァファクトリー」は、「トロナジャパン（現 シカゴピザ）」が東京渋谷で開店。フランチャイズチェーン展開を開始。	シカゴピザHP、201203
	学術	11月。酔の総合博物館「酔の里」は「ミツカン」が愛知半田で開館。	ミツカンHP、201203
	資源	「キリンビール」と「タキイ種苗」の共同開発により、新品種「千宝菜」を育成。キャベツとコマツナの種間雑種、胚培養、細胞培養。ハイテクロジーによる新品種開発の始まり。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.352
	飲食物	「江崎グリコ」が、4種類の辛さのレトルトビーフカレー「LEE」を発売。	江崎グリコHP、201203
	学術	都市生活研究所が「東京ガス」の社内シンクタンクとして発足。	東京ガスHP、201208
	学術	科学技術庁資源調査会・資源調査所「改訂日本食品アミノ酸組成表」公表。収載食品数295。四訂日本食品標準成分表のフォーアップ。	
	メディア	平野雅章他編『日本料理秘伝集成』全19冊を同朋舎出版から刊行。内容は江戸時代の料理書原典の現代語訳。	
	行動	厚生省（現 厚生労働省）の指導監督により、日本栄養食品協会（現 日本健康・栄養食品協会）が加工食品に対する「栄養成分表示（JSD）」の自主制度を実施。	日本健康・栄養食品協会HP、201308
1987 (昭和62)	行動	2月。「松下電器（現 パナソニック）」が自動パン焼き機「ホームベーカリー」を発売。	パナソニックHP、201308
	飲食物	3月。「朝日麦酒」が日本初の辛口生ビール「アサヒスーパードライ」を発売。	アサヒビールHP、201203
	資源	3月。大分県畜産試験場が日本で初めての分割凍結受精卵移植による子牛生産に成功。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.356
	学術	10月1日。「UCCコーヒー博物館」は「UCC上島珈琲」が兵庫神戸で開館。	UCC上島珈琲HP、201204
	メディア	11月。生活情報誌「レタスラブ」が西武タイム（現 角川マガジンス）から創刊。	
	飲食物	12月。「モスフードサービス」が「モスライスバーガー」を発売。ハンバーガーパンズの代わりに、平たいおむすびを使用。	モスフードサービスHP、201203
	資源	北海道農業試験場がジャガイモ品種「キタアカリ」「エゾアカリ」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.356
	メディア	厚生省監修『第四次改定 日本人の栄養所要量』を第一出版より刊行。	
	出来事	世界人口50億突破。	
1988 (昭和63)	飲食物	4月。「サトウ食品」が減菌プラスチック容器入り米飯「サトウのごはん」を製造販売。賞味期限常温6ヶ月保存可能。	サトウ食品HP、201203
	メディア	5月。木村春子他『中国食文化事典』を角川書店から刊行。	
	消費者	6月。日米農産物交渉で牛肉・かんきつの輸入枠の順次拡大、輸入数量制限を撤廃等合意。1990 (平成2)年りんご、ぶどう、パイナップル果汁、1991 (平成3)年牛肉・オレンジ、1992 (平成4)年オレンジ果汁と輸入が自由化。	
	出来事	12月30日。「消費税法」公布施行。1989 (平成元)年4月1日3%の消費税を実施。（1997 (平成9)年4月1日から5%）。	
	消費者	12月30日。「酒税法改正」公布。清酒特級・1級の級別制度の廃止、従価格制度の廃止、種類の種類間の税率の見直し等、酒類の表示基準制度の創設。	
	資源	北海道農業試験場が水稲品種「きらら397」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.360
	資源	青森県農業試験場が水稲品種「つがるおとめ」を育成。	浅川勝・西尾敏彦『近代日本農業技術年表』農山漁村文化協会、2000、p.360
	加工	「松下電器」が電磁誘導加熱システム（IH）を採用した「IHジャー炊飯器」を発売。	パナソニックHP、201203
	飲食物	「大塚製薬」が食物繊維飲料「ファイブミニ」を発売。	大塚製薬HP、201208
	飲食物	「エースコック」が「大盛りいか焼そば・スーパーカップ」を発売。	エースコックHP、201203
	行動	「ラ・レーチュレリアグ（国際母乳連盟の集い）」が京都で発足。母乳育児について経験や知識交換。	下川秋史『昭和・平成家庭史年表』河出書房新社、1997、p.536
	行動	第2次国民健康づくり対策（～1999 (平成11)年）。「アクティブ80ヘルスプラン」を展開。	厚生労働省HP、201308
	消費者	日米農産物交渉において、牛肉・かんきつの輸入枠の順次拡大、輸入数量制限を撤廃等合意。	

（平成26年3月31日受付，平成26年8月5日受理）